

統合コミュニケーションサービス ご紹介

2010年11月
富士通株式会社

企業を取り巻く環境とシステムへの要求

企業を取り巻く環境が厳しくなる中、ICTシステムに求められる経営課題はますます増加しています

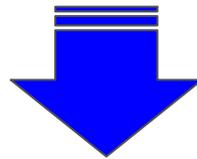
コスト削減と生産性向上への寄与



グローバルでの競争の激化への対応



急激な環境変化に対する投資リスクの軽減



最新のコミュニケーション手段である、ユニファイド コミュニケーションの導入により経営課題を解決

富士通のユニファイド コミュニケーションは新たなワークスタイルを実現するとともに、コミュニケーションとIT システムを統合をすることで、円滑な情報共有、早い経営判断などビジネスプロセス全体の最適化を推進し、企業価値向上を強力にサポートします。富士通は、ユニファイド コミュニケーションを自社構築型での提供、サービス型での提供どちらも提供が可能です。

既存PBX資産の有効活用とUC導入費用の最適化

- 全面リプレースではなく現行の設備を使いながら移行したい
- デモを見てUC独自の連携(Web会議、モバイル)は便利だとわかるが、UCはPBXに比べて導入費用がかかる
- コミュニケーションシステムは構築・運用に独特のノウハウが必要で、運用工数が増大する
- 今導入する機器が技術の変化に応じて無駄にならず活用できるか不安

経営者



総務、情シス

UCは、サービス型の要望が拡大(クラウド時代に対応)

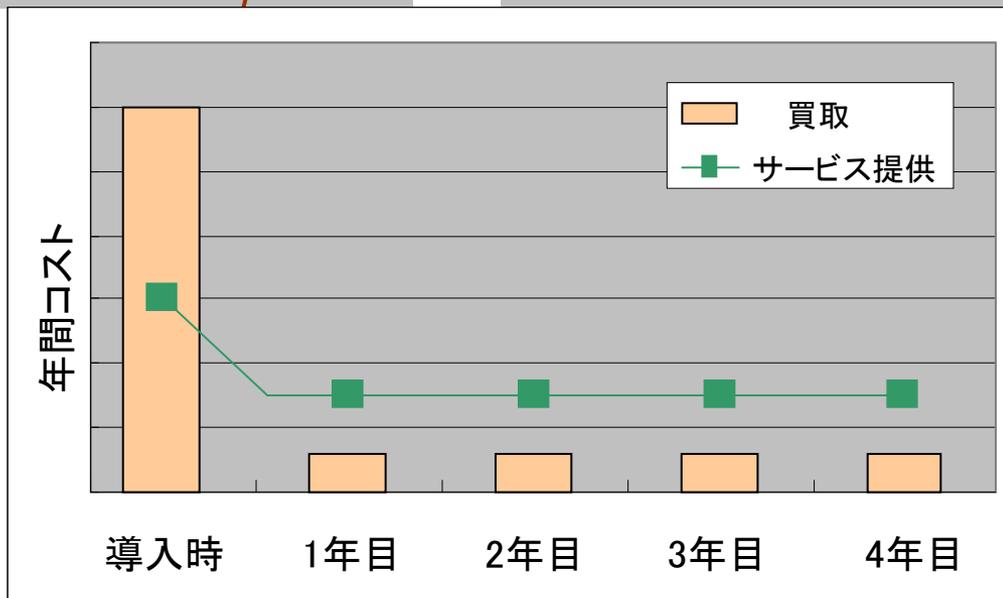
サービス導入型のメリット

本サービスはUCシステム導入のための初期投資を抑え、環境変化によるシステムの変更にも柔軟に対応できます

設備のサービス提供により、初期投資を抑制

買い取りシステムの長期利用による陳腐化のリスクを軽減

センター機器だけでなく、事業所の電話機や公衆網ゲートウェイのレンタル提供も可能



買取型とサービス提供型の年間コスト比較(イメージ)

高機能IPフォン



公衆網接続ゲートウェイ



サービス導入型でのその他のメリット

推進している商談でお客様に評価いただいているポイント

初期投資の抑制



自社構築と比較

素早く導入・素早く活用



スピード

運用からの開放



UC ≡ 情報システム

常に最新サービスを楽しむ



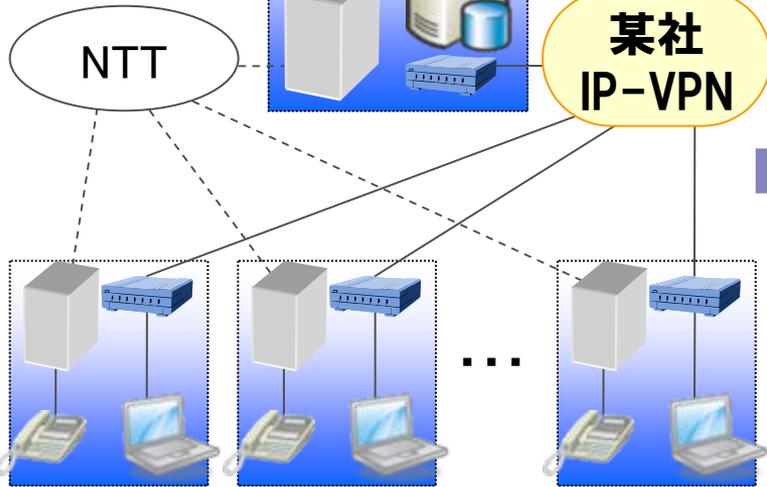
投資の保護

ユニファイド
コミュニケーションの
将来性・システム発展性
への期待

(商談例)PBX更新と営業の携帯電話の有効活用

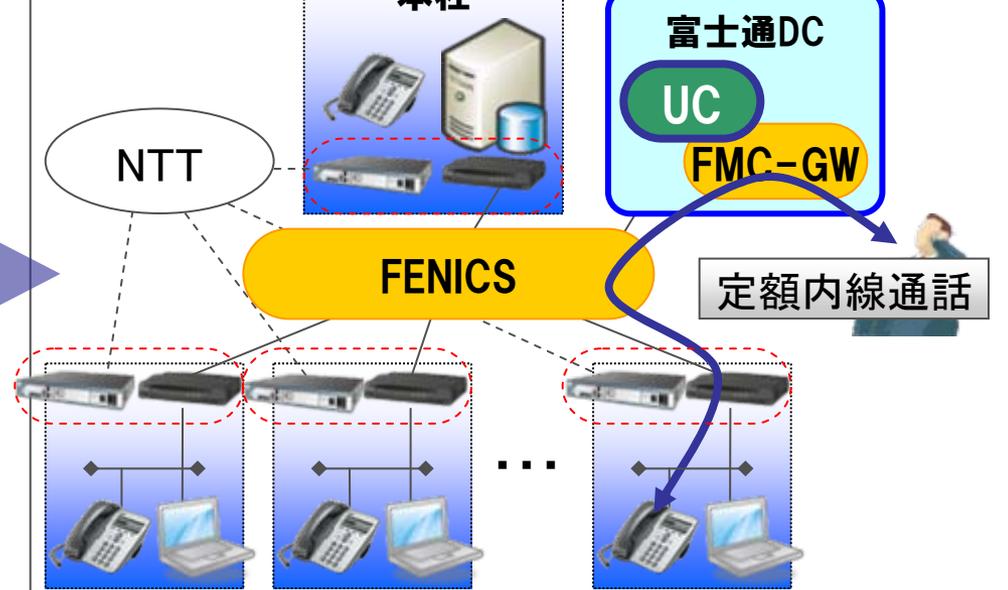
専門商社様

- 拠点数 11
- 内線数 120



音声システムとデータ系システムはバラバラ

ご提案構成



システムを統合し、全拠点で携帯電話との定額通話も可能に

ポイント

- サービス利用により、情報システム部門の運用負荷を増やさずにPBXの運用を移管できる
- 音声はデータと共用の低価格なビジネスVPNとすることで、月額圧縮が可能
- 全拠点でキャリアFMCサービスを利用可能で、営業担当者の利便性と機動力が上がる

富士通の強み

- 一契約で全拠点FMCが利用できるゲートウェイサービス
- ネットワークサービスとUCサービスを一括提供

■お問い合わせ

富士通株式会社

サービスビジネス本部 ネットワークサービス推進部

〒144-8588

東京都大田区新蒲田1-17-25 富士通ソリューションスクエア

電話 03-6424-6266(直)

■商品のご紹介ホームページ(URL)

統合コミュニケーションサービス

<http://fenics.fujitsu.com/networkservice/uc-service/>



FUJITSU

shaping tomorrow with you